

case

本当にこの土地で家が建つんですか？・・・ 土地は家を建てるとう景色も雰囲気も変わります！



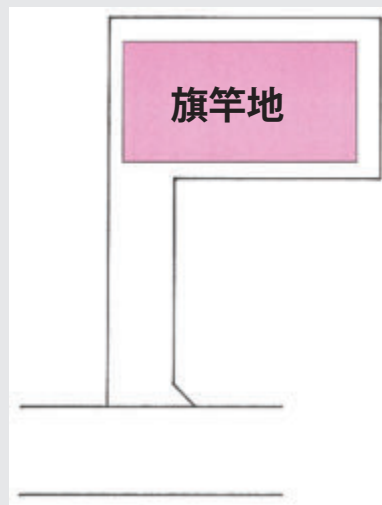
敷延部分は逆に楽しいアプローチに。



リビングは多目的に利用できるように+αスペースを設けています

敷地条件

四方を建物に囲まれ、いわゆる“旗竿地”で一見暗く感じる土地。「この場所でも、明るく楽しい家は建てられますか？」そんなご相談から始まった住まいづくりの事例です。



設計の工夫

家族が過ごすリビングを2階に配置することで、光をたっぷり取り込み、明るく快適な空間に。さらに勾配天井を採用し、より伸びやかな開放感を感じられるよう工夫しました。



ダイニングとリビングは一体空間の中に分離して配置しています



土地は狭くても中味は充実、高断熱の住まいです



日当たりの良い位置にLD設置

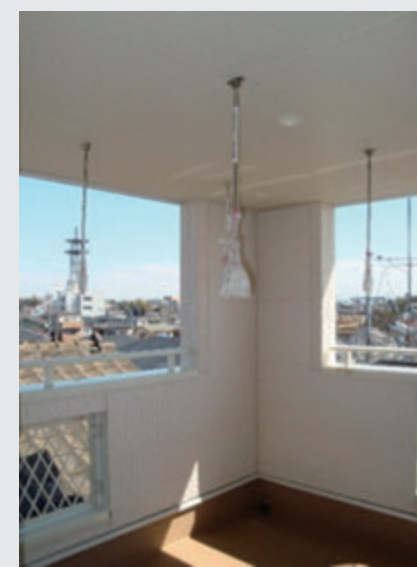


敷地条件

都市部の土地は高く、家づくりにはさまざまな制約がつきもの。「この狭い敷地で、家族4人が快適に暮らせる家をつくれますか？」そんなご相談から始まった“狭小地”の事例です。

設計の工夫

元シェフであるご主人の「広いバルコニーで食事を楽しみたい」というご要望に応え、3階に雨の日でも使える約4.5帖のルーフバルコニーを計画しました。また、生活空間をすっきり保つため、日用品から調理器具まで収納できる“大容量の多目的パントリー”も設けています。



4.5帖相当の屋根付きルーフバルコニー



収納重視の多目的パントリー